

連風按るに、諸杉は諸助の訛なるべし、

須流神社

須流は假字也○祭神在所等詳ならず

佐々伎神社

佐々伎は假字也○祭神少彦名命注○佐々木村に在す但馬考

但馬考に、二宮大明神、大崎大明神二社アリ、何レカ古祠ナル事ヲ知ラズと云へり、

類社

近江國蒲生郡沙々貴神社の條見合す、べし

日出神社

日出は比天と讀り○祭神在所等詳ならず

連風按るに、日出は比知と訓べき歟、當郡比遲神社もあり、今豊後國速見郡日出も比知と

讀り、

須義神社

須義は假字也○祭神三輪同體注○菅谷荒木村に在す、今八幡宮と稱す、但馬考

但馬考に、三代實錄菅神コレ也、一國人衣川長秋云、二方郡ニ須加神社アレバ、三代實錄ナ

ル菅神ハコレ歟と云へり、

類社

粗説に三土人  
の字に大森宅  
村の天大王社  
即兵主神大生  
部兵主神大生  
明治十三年の  
兵部省より  
社名を改めり

伊勢國河出郡須伎神社の條見合す、べし

小野神社

小野は假字也○祭神小野臣祖歟○小野庄口小野村に在す但馬考

類社

山城國愛宕郡小野神社の條見合す、べし

手谷神社

手谷は天多爾と讀り○祭神在所等詳ならず○當國養父郡手谷神社もあり

中島神社

中島は奈加志麻と訓べし○祭神田道間守但馬考○三宅村に在す同○日本紀、垂仁天皇三年三月

條に、一云、天日槍、娶但馬出島人太耳女麻多鳥、生但馬諸助也、諸助生但馬日槍杵、日槍

杵生清彦、清彦生田道間守之、

大生部兵主神社

大生部は於保爲久倍、兵主は比夜宇須と訓べし、○祭神 但馬考 ○私原中村に在す、

但馬考に、是モ日槍ノ子孫ト云ヘリと云へるは、誤なるべし、大生部は地名也、一日本紀、

皇極天皇三年七月、東國不盡河邊人、大生部多耨祭、虫於村里之人、曰、此者常世神也、祭

此神者致富與壽、巫覡等遂詐託於神語、曰、祭常世神者、貧人致富、老人還少、由

是加勸捨民家財資、陳酒菜六畜於路側、而使呼曰、新宮入來、都鄙之人取常世虫、置